

ひろの 議会だより



平成23年度取り組みの成果認定

震災後の広野町財政状況 (平成23年度決算認定) ②

さらなる復興に向けて (9月補正予算) ⑦

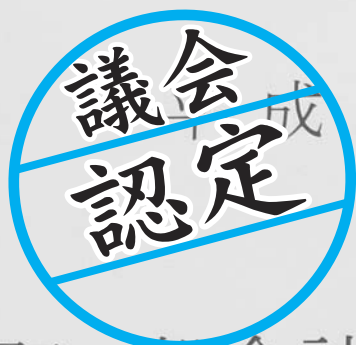
帰町に向けた環境の整備など 5議員が町政を問う(一般質問)⑪

元気いっぱい、楽しく英語にふれてみよう

(再開した広野幼稚園)

E-mail gikai@town.hirono.fukushima.jp

No.115
平成24年10月19日発行
福島県広野町議会



平成23年度
決算

73億円の成果を認定

— 広野町の再生復興への取り組み —

広野町一般会計歳入歳出決算書



決算議会
9月定例会

平成24年9月定例会を9月11日から14日までの会期で開きました。今回は、平成24年度一般会計および特別会計補正予算案など、提出された22議案を慎重に審議し、すべて原案どおり可決しました。

また、9月定例会は、決算議会でもあり、平成23年度の一般会計および6つの特別会計を認定しましたが、東日本大震災の影響による町税の減収、今後の財政運営や経費削減に向けた取り組みなどの改善や要望を求める意見が相次ぎました。

なお、一般質問では、5人の議員が、それぞれ町の対応や考えを問いただきました。

【審査結果】

平成23年度一般会計および特別会計の歳入歳出決算書については、関係諸帳簿および証拠書類と照合した結果、決算計数は正確であり、執行は適正なものと認められました。



帰還に向けた住民懇談会（平成24年3月25日開催）



23年度一般会計決算認定採決

平成23年度決算のあらまし

一般会計は、約58億1070万円、特別会計は、国民健康保険など6会計合わせて約15億2924万円となり、合計約73億3994万円余の歳出決算となりました。

これに対して、歳入決算は歳出決算を約14億6288万円上回る、約88億283万円となりました。

しかしながら、歳入面では、東日本大震災に伴う町税等の一部の課税免除により大幅な減収となり、一部課税した町民税および法人町民税の収入未済額は約2億6457万円です。6年連続して2億円を上回っています。

町民の負担の公平性を保つためにも、収入未済額の早急な縮減が求められます。

審査のむすび



審査結果を述べる小貫代表監査委員

広野町の財政状況は、依然として、東京電力(株)広野火力発電所の大規模焼却資産税への依存度が高い状況にあります。しかし、財政悪化により、前年度に引き続き普通交付税の交付団体となっています。

さらに、東日本大震災による不動産の流出、損壊による固定資産税の減収、原子力災害による立地企業などの法人税の落ち込み、失業による町民税の減収など、減収する税収を見据え、平成23年度に実施した政策や施策の結果を検証、優先事業の見極めが必要です。

また、増大する医療や介護に対する給付費も、疾病を未然に防ぐことで歳出削減につながるような施策を積極的に展開することを望みます。

平成23年度決算 4つの健全化判断比率でチェック

広野町の財政の健全性を表す指標は、いずれも危険な基準を超えておらず、財政状況は良好とされています。今後、税収の減少や財政規模の縮小が見込まれることから、よりいっそうの健全化へ向けた取り組みが求められます。



危険信号※

指標	内容	広野町	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	15%
連結実質赤字比率	全ての会計の赤字の割合	赤字なし	20%
実質公債比率	年間の借金返済額の割合	16.1%	25%
将来負担比率	将来負担が見込まれる負債の割合	53.5%	350%

※この基準を超えると、財政再建のための計画をつくり、立て直しに取り組む必要があります

人事案件

広野町教育委員会委員として、猪狩順子 氏を再任
浅野 一 氏を新たに任命



猪狩 順子 氏
(下北迫字東町)

現委員の猪狩順子氏を再任することに同意しました。
任期は、平成24年10月15日から、平成28年10月14日までの4年間です。



浅野 一 氏
(上北迫字中平)

新たな委員として、浅野一氏を選任することに同意しました。
任期は、平成24年10月15日から、平成28年10月14日までの4年間です。

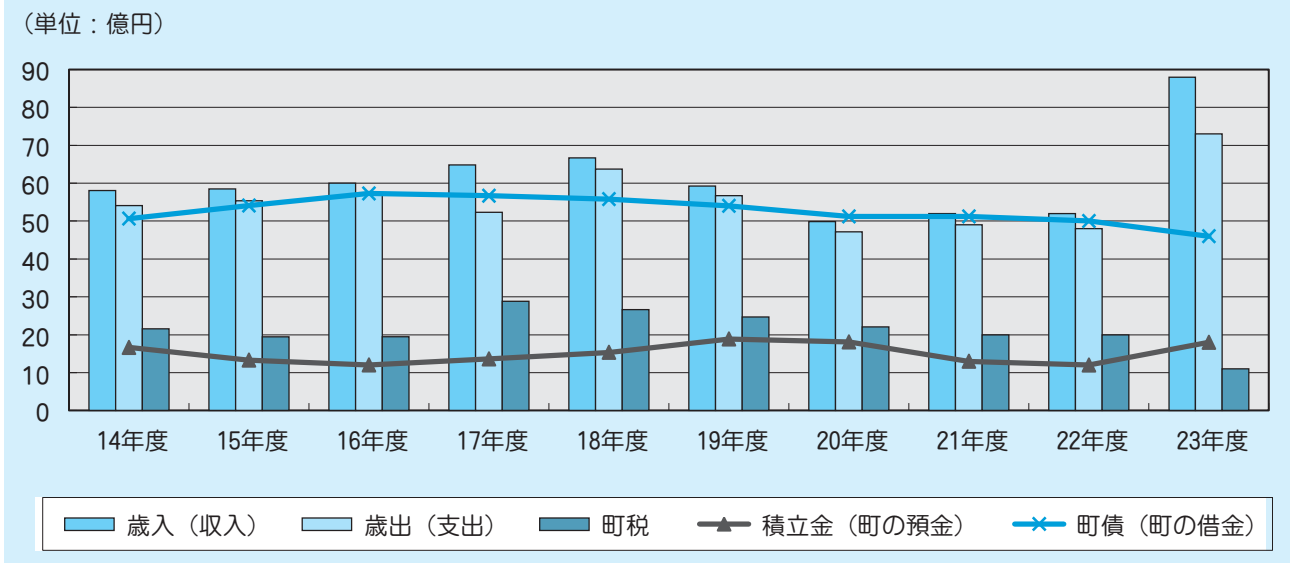
平成23年度歳入・歳出決算額

〈金額は、全て千円未満を切り捨てて表示しています。〉

会計名	決算額		収入未済額 (税金等の滞納)	採決の状況	
	歳入(収入)	歳出(支出)			
一般会計	67億4,271万円	58億 1,070万円	3億2,905万円	全員賛成で認定	
特別会計	国民健康保険	8億4,372万円	7億6,024万円	7,844万円	//
	土地開発事業	906万円	798万円	0円	//
	公共下水道事業	6億9,993万円	3億4,314万円	485万円	//
	農業集落排水事業	2,737万円	2,589万円	165万円	//
	介護保険	4億6,227万円	3億7,868万円	326万円	//
	後期高齢者医療	1,774万円	1,329万円	13万円	//
	小計	20億6,009万円	15億2,922万円	8,833万円	
合計	88億280万円	73億3,992万円	※4億1,738万円		

※国庫補助金と県補助金の翌年度繰越事業に充当する未収入特定財源1億5,283万円が含まれています。

一般会計・特別会計 歳入歳出決算額、積立金現在高、町債現在高の推移



一般会計・特別会計 歳入歳出決算額、積立金現在高、町債現在高の推移

(単位：億円)

	歳入(収入)	歳出(支出)	町税	積立金(町の預金)	町債(町の借金)
14年度	58	54	22	17	51
15年度	59	55	19	13	54
16年度	60	57	19	12	57
17年度	65	52	29	14	57
18年度	67	64	27	15	56
19年度	59	57	25	19	54
20年度	50	47	22	18	51
21年度	52	49	20	13	51
22年度	52	48	20	12	50
23年度	88	73	11	18	46

町は東京電力に賠償を求めるのか

門馬巧議員 町は、原発事故により発生した行政費用について賠償を求めていく考えがありますか。

黒田副町長 町としても被災した損害については、賠償を求める考えです。



行政機能もいわき市へ（平成23年4月18日湯本出張所設置）



実証ほ稻刈り

来年の作付けに向けた農協の体制は

塩史子議員 来年、米の作付けが可能となり、農家が玄米を出荷するときに、農協は従来のように集荷・検査・貯蔵ができる体制になるのですか。

松本産業グループリーダー 県の補助事業を利用し、町とJAが協議会を設立し、ベルトコンベア式の米検査機器を導入。低温倉庫への保管はJAいわきの倉庫に保管する方法も含めて検討しています。

心ひとつに！ 広野町

全会一致で可決

災害復旧費を中心に **12億1,503万円**を追加補正

会計名	補正額	補正後額
一般会計	8億9,701万円	154億1,561万円
特別会計		
国民健康保険	6,006万円	7億2,261万円
土地開発事業	108万円	1億4,484万円
公共下水道事業	1億5,167万円	3億5,501万円
農業集落排水事業	26万円	3,035万円
介護保険	1億0,044万円	4億9,300万円
後期高齢者医療	451万円	4,225万円
小計	3億1,802万円	17億8,806万円
合計	12億1,503万円	172億0,367万円

● 主な内容 ●

<歳出>

し尿塵芥処理費	4億3,633万円
災害公営住宅整備事業費	1億6,050万円
農業施設災害復旧費	1億2,759万円
埋蔵文化財調査費	1,305万円
河川施設災害復旧費	588万円
林業施設災害復旧費	424万円
道路橋梁施設災害復旧費	173万円

9月定例会に提出された平成24年度一般会計補正予算ならびに6つの特別会計補正予算は、東日本大震災および原子力災害に伴う甚

大な被害から復興をはかるため、歳入歳出それぞれ12億1503万円が追加補正されました。

歳出の主なるものは災害等廃棄物処理するためのし尿塵芥処理費、災害公営住宅整備事業費、埋蔵文化財調査費、農業施設災害復

旧費、林業施設災害復旧費、道路橋梁施設災害復旧費、河川施設災害復旧費等の増額の計上です。

歳入の主なるものについては、災害復旧のための財源となる国庫支出金、県支出金等の計上です。



災害による廃棄物（東町仮置き場）



町内防災行政無線

し尿塵芥処理費の負担は

門馬巧議員 帰町している町民が少ないなかで、企業が町民より多くの塵芥を排出していると思いますが、し尿塵芥処理費には企業負担が含まれているのですか。

大和田福祉環境グループリーダー この負担金の中には、企業分は含まれていません。

耳が不自由な方への防災無線周知方法は

畑中大臣議員 防災無線の連絡がなかなか聞き取れない方もいると考えます。耳が不自由な方へいち早く周知する方法を考えていますか。

大和田福祉環境グループリーダー 今後、時間をいただいて検討していきたいと思っています。

不採択

福島県内すべての原発の廃炉の決議を求める請願書

【請願者】

福島県母親連絡会
代表委員 山崎 満子
(福島市舟場町)
【紹介議員】
畑中 大子

【要旨】

福島県が策定した「福島県復興ビジョン」の「基本理念」の1つとして「原子力に依存しない安全・安心で持続的に発展可能な社会づくり」が掲げられ、県議会では「第一、第二原発の全基廃炉の決議」が全会一致で採択されました。また6月議会までに県内49市町村議会で決議がされ、残り10市町村の意思表明が求められています。

賛成 塩 史子議員

大地の恵みを残すことが私たちの責務

未来に生きる子どもたちが、核、放射能に怯えることなく、暮らせるよう大地の恵みを残すことが私たちの責務と考えます。このような事故は2度と起こしてはなりません。また、雇用という原発の経済効果を欲目でみても、被害を受けた議会が意思を表す良い機会と考え、賛成します。

【賛成】
畑中 大子
門馬 巧
塩 史子

反対 渡邊 正俊議員

議会でのしっかりした議論必要

請願書の趣旨は福島県内の廃炉を求めるものです。これを求めるのであれば、全国の原子力発電所の廃炉を求めるものが趣旨だと考えます。広野町議会として、しっかりした議論がまだ、なされていません。十分に議論し、議会の意見として決定していくべきと考え、現時点で反対します。

【反対】
門馬まりえ
小磯利雄
北郷幹夫
遠藤 智
渡邊正俊
黒田政徳
渡辺久長
坂本紀一

【討論】

討論の結果、賛成3、反対8で不採択となりました。

2議案を全会一致で承認・可決

7月24日に第4回臨時議会を開きました。広野町役場湯本出張所設置条例を廃止する条例や平成24年度広野町一般会計補正予算について、全会一致で可決されました。

【補正の結果】

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	1億5,779万円	145億1,860万円
● 主な内容 ●		
＜歳入＞ 復興交付金		1億3,062万円
＜歳出＞ 復興交付金積立金		1億3,062万円
造成宅地滑動崩落緊急対策事業費 (測量設計委託料)		2,100万円
再生可能エネルギー導入事業費 (調査委託料)		252万円
職員臨時駐車場整備工事費		215万円

※金額は、全て万円未満を切り捨てて表示しています。

工事請負契約を全会一致で可決

8月7日に第5回臨時議会を開きました。広野中学校実習棟災害復旧改築工事請負契約について審議し、全会一致で可決されました。



改修中の中学校実習棟

第5回臨時会 中学校実習棟災害復旧改築工事 田中・西本特定建設工事共同企業体と契約

工事の名称 広野中学校実習棟災害復旧改修工事
 工事の場所 大字下浅見川字築地12番地内
 工期 着工：平成24年8月8日
 完成：平成25年3月22日
 工事代金 1億4,175万円
 請負者 田中・西本特定建設工事共同企業体

採択

議員発議で意見書を国に提出 地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

【提出者】

提出者 坂本 紀一
賛成者 門馬 巧
小磯 利雄
【要旨】
地球温暖化防止をより確実なものとするためには、森林の整備・保全等の森林吸収源対策や豊富な自然環境が生み出す再生可能エネルギーの活用などの取り組みを山村地域の市町村が主体的・総合的に実施することが不可欠である。二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「地球温暖化対策のための税」の一定割合を森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築すること。

【提出先】

内閣総理大臣
財務大臣
総務大臣
国家戦略担当大臣
農林水産大臣
環境大臣
経済産業大臣
衆議院議長
参議院議長



町内を流れる浅見川渓谷

総務文教 事業の推進を図るよう要請

分譲状況は、平成24年8月31日までの募集期間において応募者がいないことから、分譲に係る課題と改善案、さらに、今後の分譲に係る基本方針案の説明を受けました。

総務文教 安心して勉強や運動ができる環境づくり

幼・小中学校の空調設備設置工事および中学校テニスコート災害復旧工事は、工期内に完成したとの報告を受けました。
平成24年度2学期からの広野小学校・中学校・幼稚園の就学予定児童生徒数は、小学生65名、中学生30名、幼稚園4名で、その内、

産業厚生 付け可能となる環境整備を農地の除染方法

町が宅地建物除染を委託している清水建設(株)に農地の除染を委託しました。基礎調査を7月中に終了、8月末までに詳細調査(空間線量、土壌サンプリング、放射性物質濃度測定)などを行い、9月初めから11月末の3か月間で、町内全域農地約400haにゼオライトとケイ酸カリを散布するとの説明を受けました。当委員会は、来年こそは作付け可能となる環境整備づくりに努めるよう強く要望しました。

委員会報告

状況を報告します。

平成24年8月22日 開催
平成24年8月22日 開催
平成24年7月24日 開催

委員会の活動

総務文教常任委員会
産業厚生常任委員会
東日本大震災災害復興に関する特別委員会



笑顔が戻った広野中学校

特別委員会 強い復興の前進を要請

災害公営住宅は、被災者の意向調査を踏まえて、集合住宅2DK 28戸、3DK10戸、計38戸。戸建住宅4DK10戸。総計48戸を建設するとの説明を受けました。
久保、本町、北釜の津波による流失・全壊



稲が実る町内実証ほ (平成24年8月22日)

特別委員会 民家除染の現地調査

7月19日までの除染終了率は、1908戸の対象件数に対し家屋・屋根完了状況で53%であり、未同意の件数187軒を含め、8月25日時点で約300軒が残る見込みであること、また、生活圏の森林部分の除染は、環境省と放射線の低減の手法について再度協議し、除染実施計画で定める目標値にならない宅地の部分とともに年内の終

特別委員会 住 民理解をもとに 駅東側地区の取り組み

広野駅東側区域の整備は、周辺住民および地権者説明会を2回実施し、復興整備計画(復興特区)の申請協議を本年9月末開催予定の復興整備協議会に申請することとした。委員会は、駅東側を整備する際には童謡に歌われている震災以前の田園風景を損なわないよう配慮を求め、企業誘致、公共機関、双葉郡民への宅地の提供など、この事業の重要性を確認しました。



開発がすすめられる駅東側地区

追跡レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

●平成24年3・6月定例会 ●一般質問

遠藤 智 議員 塩 史子 議員

避難マニュアルを策定せよ

防災無線や避難ルート・場所などを示した緊急避難マニュアルを策定すべきではないですか。

避難マニュアルを早急に策定せよ

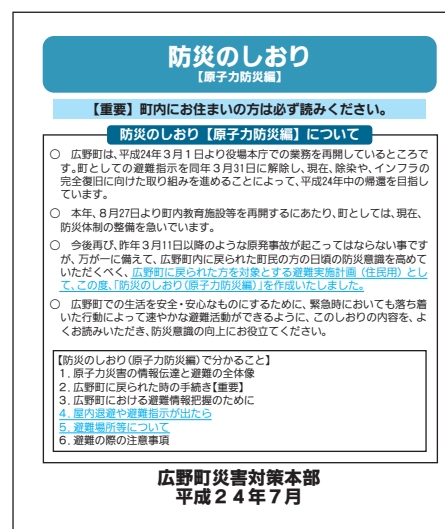
避難方法・手段、経路・避難先などを定めるべきではないですか。

避難マニュアルを策定し配布する

情報通信設備や衛星電話などの整備に努め、早急に避難マニュアル策定し、町民の皆様に配布します。

防災のしおり(原子力防災編)を作成

広野町に戻られた方を対象とする避難実施計画(住民用)として、この度、「防災のしおり(原子力防災編)」を作成・配布しました。(平成24年7月)



配布された防災のしおり

5人の議員が町政を問う

一般質問席

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について事実の説明を求めたり、所信を問いただすものです。

一般質問席(広野町議会議場)

財物賠償を求めるべきでは

山田町長／引き続き賠償内容充実に努める

遠藤 財物賠償は、
①管理できな

かった損失
②放射性物質の付着による、瓦屋根・畳・リフォーム等の財物賠償を求めるべきではないですか。

町長 財物の賠償は30万円の定額を賠償する内容です。

ただし、30万円を上回る場合は、請求により実損額を賠償することとなり、
①管理できなかった損失
②放射性物質の付着による瓦屋根・畳・リフォーム等の賠償については、賠償の対象になると認識しています。

帰還メッセージはいつ行うのか

山田町長／住民説明会のなかで帰還をお願いしたい

遠藤 町の緊急時避難準備区域が平成23年9月30日に解除され、

復旧計画の帰還完了を平成24年12月までとしているところですが、未だ町民の多くが帰還されていない現状です。
復旧・復興への帰還メッセージが求められていると思いますが、帰還メッセージはいつ行われるのですか。

町長 緊急時避難準備区域解除から1年、町避難指示の解除から半年が経過し、「緊急時避難準備区域復旧計画」で帰還完了を目指している本年12月末まで残り3カ月となることから住民説明会を開催し、帰還をお願いしてまいります。

復興文化祭の開催を

芦川教育長／より良い方向を考えたい

遠藤 学習指導の目的に沿った小・

中学校ふれあい祭を開催し、町民がふれあい祭りに参加し、避難生活から日常までの様々な作品、イベント等を提供することは大変有意義なものだと思いますが、どのように考えていますか。

教育長 子どもたちの負担が少しでも軽くなり、落ち着いた学習活動を取り戻すためには、もう少し時間をいただきたいと考えています。今年度は、小・中学校ともに予定通り学習発表会・広蛸祭を開催し、町民の皆さんにご覧いただき、子どもたちの元気な姿を見ていただきたいと思います。



遠藤 智 議員

遠藤 帰還困難区域の「仮の町」構想

が福島復興再生基本方針のもと検討されています。広野町への居住を求めている双葉郡民に対しての、町内県営復興住宅の建設を要望すべきではないですか。

町長 町としては双葉郡の他の町村から要望があれば、できる限りの協力は惜しまない考えです。

今後、居住を希望する住民数による適正な規模や建設時期、建設場所などを検討の上、県に町内への建設を要望していきたいと考えています。

遠藤 町民に住宅支援、農地再生等各種制度が正確に理解されていない実態があります。

役場内グループ制度の利点を活用した、親切なわかりやすい体制を取るべきではないですか。

町長 各種制度の概要や担当窓口

がわかりやすく理解できるように一覧表を作成し、広報と一緒に配布して、周知します。

県営復興住宅の建設を

山田町長／町内への建設を要望したい

各種制度の受付案内体制を整えよ

山田町長／わかりやすい一覧表を作成し配布



中学校広蛸祭(平成22年度)

人工透析患者に対する治療体制を整えよ

山田町長／体制構築を国・県等に強く求める

北郷 当町の腎臓機能障害による

人工透析患者は、原子力災害前は、近くの富岡町等の治療施設に通院していました。現在は、避難先周辺で、透析治療を受けていると思われま

① 広野町の人工透析患者は少ないですか。

② 町民の帰還を促している町としては、広野町内、または、近隣で治療が受けられる体制を構築すべきではないですか。

町長 ① 社会保険に加入している

方については正確な人数を把握するのは難しいですが、国民健康保険、後期高齢者医療の特定疾病療養者ならびに腎臓機能障害による身体障害者手帳の発行数等から勘案すると18名です。

② 町内等近隣で透析のできる医療体制の構築は国・県等に強く求めていきますが、実現には時間を要することから、町に帰還しても通院の負担軽減を図るため、医療機関への患者送迎の要請や通院費用助成の拡充を図っていきたくと考えています。



北郷 幹夫 議員

原子力災害に係る相談窓口を設置せよ

山田町長／実現に向けて努力します

北郷 「財物等」に係る賠償基準

が平成24年7月24日に公表されました。町民からの原子力災害の賠償に対応するためにも、専門的知識を持った人（弁護士等を委嘱）による相談窓口を設置すべきではないですか。

町長 今後、賠償の内容や範囲など

高度な法律的な判断を要する案件が増えるものと考えられますので、「原子力災害に係る相談窓口の設置・開設」の実現に向けて努力します。



定期健康診断を受けましょう

中学校部活動再開についての考えは

芦川教育長／学校と協力しながら適切に指導

門馬 中学校は生徒数が31人で部

活動の再開を目指すために、生徒に希望を調査するとありましたが、教育委員会としてはどのように考えていますか。

連出場など、団体競技として成り立たない部活があるため、その教育効果を考慮しつつ、学校と協力しながら適切に指導していきたくと考えています。

また、保護者負担軽減のため中体連や練習試合の際の移動経費等の助成を震災以前同様に交付したいと考えています。

教育長 対象生徒全員

に部活動希望調査を実施しましたが、希望があったすべての活動をした場合、中体

交通量増に対する町の取り組みは

芦川教育長／事業者等に交通ルールの徹底を要請

門馬 学校が再開しスクールバス

による通学が始まりました。町内には復旧作業に伴う企業等の事業所も増えており、朝夕の町通りの交通量が増えています。これらに対する町の取り組みは。

教育長 スクールバスの運行時間は

混雑がある程度見込んだ上で、運行経路等の調整をしています。朝夕の混雑については、企業・事業所に対して、交通ルールの徹底を要請し、警察の交通指導なども併せて要請します。

通学に関する意向調査後の働きかけは

芦川教育長／モニタリングの情報を周知

門馬 教育委員会の意向調査によ

ると今回の再開には就学を希望しなかったが、25年4月以降、時期未定を入れて87名が通学させたいと考えています。また、通学を考慮していない・分からないと回答した261名の児童・保護者に対する働きかけはどのようにしますか。

教育長 少数ではありますが、調査

時に通学しないと回答した児童生徒の中にも、その後、広野町立学校に通学する児童生徒がいる状況もあり、意向調査時点での保護者の考え方が変わってきていると推測します。町として全体的な復興を進めながら、学校のモニタリングの状況などの情報を広報、学校だより、ホームページなどを通じて保護者や町民の皆さんへ周知することで理解が得られると考えています。



門馬まりえ 議員

学校施設等の線量測定は毎日行っているか

青川教育長／教職員が毎日測定し、掲示している

畑中 ①通学路や学校施設等の線量測定は毎日おこなっていますか。

②生徒にも放射線に対する知識を与えることが求められています。放射線教育に取り組む考えはありますか。

教育長 ①教職員が毎日数カ所を測定し、昇降口等に測定値を掲示しています。また、事業者に委託し、週1回幼稚園・小学校・中学校の各施設の内外部780地点を定期的に測定し、全戸配布しています。

②小学校・中学校それぞれ各学年に応じた指導内容のもと、放射線等の知識を身につけさせ、自ら考え判断して行動できる力を育てよう、指導しています。

③「放射線健康管理アドバイザー」が委嘱されたことから、このような先生方にご協力をいただきながら講演会等を実施したいと考えています。

畑中 南相馬市長や元矢祭町長などが入会し、設立している「脱原発をめざす首長会議」に入会し、郡内の脱原発論を推進しようという考えはありますか。

「脱原発をめざす首長会議」への参加は

山田町長／考えていません

畑中 エネルギー政策は国策として進められてきたものであり、国が今後のエネルギー政策をどのように策定するかしっかりと見守りたいと考えています。

町長 全ての便座を一挙に取り替えることは財政的にも困難ですので、優先順位をつけ、計画的な改修に取り組みます。

公共施設は暖房便座に替えよ

山田町長／計画的な改修に取り組み

畑中 公共施設全て、冬場に向けて、暖房便座に替える必要があるのではないですか。

町長 状況は、町で配布した線量計で把握していただきたいと思っています。また、除染後の線量に不安や疑問をお持ちの保護者の方々がいる場合は、除染対策グループと連絡調整し、家屋のモニタリングにあたりたいと考えます。

町民の帰町の進め方はいかに

山田町長／町民説明会を開催

渡邊 ①町民は町内に戻っている人、仮設住宅借上げ住宅等で避難生活を余儀なくされている人と、多様な状況であるながら、これから、帰町に向けた促し方はどの様にするのですか。

町長 ①今後、町民説明会を開催し、町の復旧・復興状況や今後の取り組みを説明し、広野町の再生には町民の皆様のご協力が不可欠でありますので、本年中の帰還をお願いし、併せて町づくりへの支援をいただきたいと思えます。

②町民説明会のなかで、町民の皆さんの具体的な意見・要望を伺い、帰還を促す取り組みをさらに強めていきます。

家庭内線量調査を行うべきでは

山田町長／配布した線量計での把握を

渡邊 幼児、児童、生徒のいる家屋の線量を調査し、安全対策をとるべきではないですか。

町長 各世帯の線量状況は、町で配布した線量計で把握していただきたいと思っています。また、除染後の線量に不安や疑問をお持ちの保護者の方々がいる場合は、除染対策グループと連絡調整し、家屋のモニタリングにあたりたいと考えます。

広野町が果たす役割とは

山田町長／双葉郡の復興・再生にも貢献したい

渡邊 ①郡内町村の多くは、長期の帰還困難な状況であるが、双葉広域圏を構成し、その一翼を担う当町の果たす役割はどのようなものですか。

②仮の町構想等に積極的に態度を示し意見を発すべきと考えますが、どうですか。

町長 ①広域組合の業務は環境衛生や消防等住民の生活にとって必要不可欠なものであり、極めて重要なものであります。一部の施設は稼働していますが、多くの施設は見込みが立たない状況で、施設再稼働のため公共施設の提供や国・県への要望活動など積極的に行動してまいります。今後とも、双葉郡の南の玄関口として町の復興・再生はもとより、双葉郡の復興・再生にも貢献していきたいと考えます。

②できる限りの協力は惜しまない考えです。今後、国・県・関係自治体を交えた協議の場が設置される予定ですのでそのなかで受け入れについて積極的に意見を述べたいと考えます。



渡邊 正俊 議員



▲スクールバスで通学する児童



畑中 大子 議員

各種保険料の減免と医療費補助継続を求めよ

山田町長／国に対して強く申し入れます

畑中 各種保険料の減免と医療費補助の継続は、命を守り、くらしを守る観点から、強く求められています。国や県に対して、強く申し入れますか。

町長 後期高齢者医療制度、介護保険、国民健康保険の減免と医療費補助の継続は、国に対して今後も強く申し入れます。

精神的損害賠償の継続を求めよ

山田町長／終期延長を含め、内容の改善を強く求める

畑中 8月以降も損害賠償を続けられるよう町全体として取り組むように、町長の主導性を問う声が大きいですが、どう考えますか。

町長 本年8月末までの精神的損害賠償の終期とする内容には到底容認できるものではないことから、国に対し賠償終期の延長を含め内容の改善を強く求めています。

【その他の質問】

畑中 仮設住宅駐車場の周知は

町長 入居時説明会で説明

ま ちか ち インタビュー



友へ、ふるさとへ、思いを胸に
輝く未来に羽ばたく、明るく元気な広野中学生

2学期から学校を広野町内で再開した幼稚園・小学校・中学校。町内での再開には、数々の苦労や困難がありました。そして、1カ月が過ぎ、再開して良かった点や今後の抱負などを中学生に伺いました。



阿部 寧彩さん
(下北迫・東町)

広野町内での学校再開は私にとっても嬉しいものでした。
再開から1カ月が過ぎて、私は広中の新しい伝統をつくり、先輩方がつくり上げてきた伝統をしっかり受け継いでいきたいと思いました。

広中の本校舎再開までた
くさんの方々の苦労を無駄
にしないように、よりよい
広中を築き上げていきたい
です。



9月に開かれた中学校レクリエーション



遠藤 敦也さん
(下北迫・苗代替)

まず感じたことは学習環境
の良さです。心に余裕を持つ
て、尚且つ集中して勉強に取
り組むことができます。また、
友達との関係をより深いもの
にし、何事にも協力すること
の大切さを改めて感じさせら
れました。
広野中出身の生徒たちが胸
を張って進んでいけるような
学校を目指します。自分に負
けず、努力を惜しませんがばつ
ていきたいです。

編集後記

多くの皆様が町を
離れ慣れない地で困
難に立ち向かい、悲
観の中に歓喜を見出
し希望に向かって歩
き始めています。

お世話になつてき
た多くの方々への感
謝の気持ちを胸に刻
み、皆様との対話に
よる信頼関係、支え
合う協力から、ふる
里を子々孫々へ継承
し地道に一步一步前
進して参りたいと思
います。
明けない夜はあり
ません。
希望の朝は必ず訪
れます。
素晴らしい自然豊
かな美しい広野町は
必ず復興します。
安心安全は確かな
将来が補償されてい
ます。
皆様、ふる里に熱
い想いを込め、真摯
に様々な“お声”に
耳を傾け、私たちの
愛する広野町を創り、
共に手を携えて力強
く歩んで参りましょう。
(遠藤 智)



秋の紅葉と
流れ落ちる大滝

- 発行・編集責任者
議長 鈴木紀昭
広報委員会
委員長 渡邊正俊
副委員長 北郷幹夫
委員 塩 史子
委員 渡辺久長
委員 遠藤 智
委員 畑中天子
委員 小磯利雄

次の定例会は12月です